

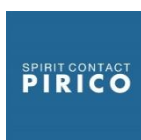
災害用RO浄水機

Water Cube mini

ウォーターキューブミニ

品番: WTC-M33

Q & A



目次

1. 概要	P
Q1. ウォーターキューブミニの大きさ、重量はどれくらいですか？	1
Q2. 飲料水は、どれくらいの量を造れるのですか？	1
Q3. ウォーターキューブミニの造水量で何人分の飲料水を造ることができますか？	1
Q4. 操作は、簡単にできますか？	1
Q5. 初期運転準備にはどれくらいの時間がかかりますか？	1
2. 動力関係	
Q1. ウォーターキューブミニの動力は何ですか？	1
3. 原水	
Q1. 原水としては、何を使用できますか？	1
Q2. 原水として使用できない水はどのようなものがありますか？	2
4. 飲料水、雑用水	
Q1. 装置の生産水は飲料水として使用可能なのですか？	2
Q2. 原水の温度によって、飲料水造水量が変化したりしますか？	2
Q3. 原水温度は、お湯でも大丈夫ですか？	2
Q4. 装置を初期稼働させてすぐの飲料水を飲んでも安心ですか？	2
Q5. 取り入れた原水のうち、どれくらいの割合が飲料水になりますか？	2
Q6. 原水から飲料水を造水した場合、残りの水はどうなりますか？	2
5. 殺菌	
Q1. 造水した飲料水は、そのまま飲用しても大丈夫ですか？	3
Q2. 逆浸透膜では菌が除去できるにもかかわらず、殺菌剤を添加するのはなぜですか？	3
6. バッグフィルター	
Q1. バッグフィルターの役割は何ですか？	3
7. ROフィルター(逆浸透膜)	
Q1. ROフィルター(逆浸透膜)とはどのようなものですか？	3
Q2. ROフィルター(逆浸透膜)では、農薬はどの程度除去できますか？	3
Q3. ROフィルター(逆浸透膜)では、重金属はどの程度除去できますか？	4
Q4. ROフィルター(逆浸透膜)では、硬度成分(カルシウム・マグネシウム)はどの程度除去できますか？	4
Q5. ROフィルター(逆浸透膜)では、トリハロメタンはどの程度除去できますか？	4
Q6. ROフィルター(逆浸透膜)では、一般細菌、大腸菌、ウィルス等はどの程度除去できますか？	4
Q7. ROフィルター(逆浸透膜)の交換は簡単にできますか？	4
Q8. ROフィルター(逆浸透膜)の交換時期はどのように判断すれば良いですか？	4
Q9. フィルター洗浄はできますか？	4

8. プレフィルター(前処理フィルター)
- Q1. プレフィルターの役割は何ですか？ 4
 - Q2. プレフィルターの寿命はどれくらいですか？ 5
 - Q3. プレフィルターの交換は簡単にできますか？ 5
 - Q4. フィルターの交換時期はどのように判断すればよいですか？ 5
9. ポストフィルター(後処理フィルター)
- Q1. ポストフィルターの役割は何ですか？ 5
 - Q2. ポストフィルターの交換は簡単にできますか？ 5
 - Q3. フィルターの交換時期はどのように判断すればよいですか？ 5
10. 保存、本体稼働テスト
- Q1. 本体及びフィルターの保管場所は、どのようなところが良いですか？ 5
 - Q2. 定期稼働テストは、なぜ行うのですか？ 5
11. その他
- Q1. 消耗品にはどのようなものがあり、交換頻度はどれくらいですか？ 6
 - Q2. フィルター類は、使用しない限り交換しなくても良いですか？ 6

1. 概要

- Q1. ウォーターキューブミニの大きさ、重量はどれくらいですか？
- A1. ウォーターキューブミニ本体は
幅:235×奥行:190×高さ:450mmです。
重量は、空重量:10kg、運転時重量:約11kgです。
梱包サイズは、幅:280×奥行:280×高さ:475mmです。
- Q2. 飲料水は、どれくらいの量を造れるのですか？
- A2. 原水が水道水の場合 : 約18ℓ/時(水温10℃) ~ 約30ℓ/時(水温25℃)
の飲料水を造水することができます。総造水量は、4,380ℓです。原水によって造水量は
変わります。
- Q3. ウォーターキューブミニの造水量で何人分の飲料水を造ることができますか？
- A3. 災害時に必要な飲料水は1人1日 3ℓとされています。
このこととA2.及び18時間運転を前提とすると、108~180人分の飲料水を造り
だすことができます。
- Q4. 操作は、簡単にできますか？
- A4. 操作は、スイッチとバルブの簡単操作です。取扱説明書をよく読みご使用ください。
- Q5. 初期運転準備にはどれくらいの時間がかかりますか？
- A5. 保管状態から、ホースをつないでいただき、ダミーフィルターから正規フィルターに交換
いただくだけで準備はOKなので、組立等で時間がかかることはありません。その後、
飲料水としてご使用いただく際には、放流時間が15分必要です。

2. 動力関係

- Q1. ウォーターキューブミニの動力は何ですか？
- A1. 電気100V60Wです。(初期稼働時に、60W強必要な場合があります。)
発電機や車両電源で運転が可能です。
また、手動式の加圧タンクポンプもオプション品をご用意しております。

3. 原水

- Q1. 原水としては、何を使用できますか？
- A1. 河川水・湖沼水・井戸水・プール水・受水槽・高架水槽等の淡水を原水として
ご使用になれます。(ただし、200PPM以下の水に限ります。付属のTDSメーターで測定で
きます。)

- Q2. 原水として使用できない水はどのようなものがありますか？
A2. 海水、油、洗剤が混入している水、有毒物質が多量に含まれていたり(魚の屍骸が浮遊)強い化学薬品臭がある場合には原水として不適な場合がありますので、ご使用にならないで下さい。(詳細は、取扱説明書をご覧ください。)

4. 飲料水、雑用水

- Q1. 装置の生産水は飲料水として使用可能なのですか？
A1. ウォーターキューブミニの生産水は水道水基準51項目・浄水性能試験39項目に適合する飲料水を造りますので、安心して飲用いただけます。
- Q2. 原水の温度によって、飲料水造水量が変化したりしますか？
A2. 温度が高くなると造水量が増し、低くなると造水量は減少します。
水温が低い場合は水温を上げる工夫をすると造水量が増します。
- Q3. 原水温度は、お湯でも大丈夫ですか？
A3. 38℃以上の水は原水として使用しないでください。
- Q4. 装置を初期稼働させてすぐの飲料水を飲んでも安心ですか？
A4. 装置を保管中は、RO膜内の菌の繁殖を防ぐため保存液を注入しておきます。
従って、飲料水を使用する際には、保存液を全て抜くために、約15分間は飲料水を放流して下さい。
その後の使用は、毎日の使い始めは約3分間、2日以上使用しなかった場合は、約10分間飲料水を放流して下さい。付属のTDSメーターで25PPM以下を確認しご利用下さい。
5日以上使用しなかった場合すべてのフィルターを交換して下さい。
(詳細は、取扱説明書をご覧ください。)
- Q5. 取り入れた原水のうち、どれくらいの割合が飲料水になりますか？
A5. 約40%~50%が飲料水として造水できます。
- Q6. 原水から飲料水を造水した場合、残りの水はどうなりますか？
A6. トイレ・洗濯等の雑用水としてご利用いただける場合もあります。

5. 殺菌

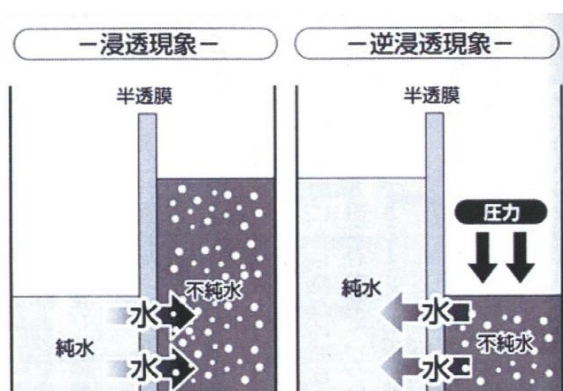
- Q1. 造水した飲料水は、そのまま飲用しても大丈夫ですか？
- A1. 飲用する場合には、浄水(生産水)に次亜塩素酸を添加してください。
ウォーターキューブミニには、殺菌剤としての次亜塩素酸等は付属されておりません。
- Q2. 逆浸透膜では菌が除去できるにもかかわらず、殺菌剤を添加するのはなぜですか？
- A2. 逆浸透膜では菌類を100%除去しますが、2次側の配管等に菌が付着している可能性があること、また飲料水を採水する容器に菌が付着している可能性があり、そういった場合の殺菌を目的として殺菌剤を添加してください。
(本体蛇口部分の除菌用に二酸化塩素除菌スプレーを付属しています。)

6. バッグフィルター

- Q1. バッグフィルターの役割は何ですか？
- A1. 1 μ m(1/1000mm)の目の細やかさで目に見えるゴミ等を取り除き、本体フィルターの負荷を軽減します。原水は必ずバッグフィルターでろ過した水をご利用下さい。

7. ROフィルター(逆浸透膜)

- Q1. ROフィルター(逆浸透膜)とはどのようなものですか？
- A1. ROフィルター(逆浸透膜)とは、最も高性能な浄水フィルターです。水の分子だけを通しその他の溶存物質は通さない『半透膜』と呼ばれる膜を用いています。
通常の浄水器では除去が難しい物質のほとんどを取り除き、最も安心な水を作り出します。



- Q2. ROフィルター(逆浸透膜)では、農薬はどの程度除去できますか？
- A2. 農薬に使われている薬品は、おおむね分子量が100~200以上あります。
ウォーターキューブミニで使用されているROフィルターでは、分子量が200以上の物質は、99%以上除去することができます。

- Q3. ROフィルター(逆浸透膜)では、重金属はどの程度除去できますか？
- A3. 鉄・マンガン・クロム等の重金属は、分子量が大きくウォーターキューブミニのROフィルターでは99%以上除去できます。
- Q4. ROフィルター(逆浸透膜)では、硬度成分(カルシウム・マグネシウム)はどの程度除去できますか？
- A4. カルシウム・マグネシウム等の硬度成分は、99%以上除去できます。
- Q5. ROフィルター(逆浸透膜)では、トリハロメタンはどの程度除去できますか？
- A5. トリハロメタンと呼ばれるものは、様々な種類のものがありますが、すべてのトリハロメタンで90~98%の除去性能があり、総トリハロメタンとしては、95%以上の除去率があります。
- Q6. ROフィルター(逆浸透膜)では、一般細菌、大腸菌、ウィルス等はどの程度除去できますか？
- A6. 一般細菌、大腸菌、ウィルス等の病原生物や、水に溶けていない物質は、100%除去できます。
- Q7. ROフィルター(逆浸透膜)の交換は簡単にできますか？
- A7. どなたにでも交換できるようになっています。
フィルターを握り斜めに起こし左にひねって外しフィルターを交換していただくだけでOKです。
- Q8. ROフィルター(逆浸透膜)の交換時期はどのように判断すれば良いですか？
- A8. 運転条件を変えていないにもかかわらず造水量が減少した場合、浄水が25PPM以下に下がらない場合(付属のTDSメーターで測定して下さい。)交換して下さい。
※フィルター交換には、使用期限内の予備フィルターが必要です。
- Q9. フィルター洗浄はできますか？
- A9. ROフィルター洗浄機能付きです。(詳細は、取扱説明書をご覧ください。)

8. プレフィルター(前処理フィルター)

- Q1. プレフィルターの役割は何ですか？
- A1. ROフィルター内に粒子の大きい物質が入ると、すぐに膜が詰まってしまう、性能の劣化につながります。それを防ぐための前処理として、プレフィルターをつけています。

- Q2. プレフィルターの寿命はどれくらいですか？
 A2. 原水の水質によって差がありますが、通常の河川水レベルで考えると1週間位であると思われます。
- Q3. プレフィルターの交換は簡単にできますか？
 A3. どなたにでも交換できるようになっています。
 フィルターを握り斜めに起こし左にひねって外しフィルターを交換していただくだけでOKです。
- Q4. フィルターの交換時期はどのように判断すればよいですか？
 A4. 運転条件を変えていないにもかかわらず造水量が減少した場合が目安になります。
 ※フィルター交換には、使用期限内の予備フィルターが必要です。

9. ポストフィルター(後処理フィルター)

- Q1. ポストフィルターの役割は何ですか？
 A1. 脱臭効果です。
- Q2. ポストフィルターの交換は簡単にできますか？
 A2. どなたにでも交換できるようになっています。
 フィルターを握り斜めに起こし左にひねって外しフィルターを交換していただくだけでOKです。
- Q3. フィルターの交換時期はどのように判断すればよいですか？
 A3. RO膜(逆浸透膜)を交換する際に、一緒に交換してください。
 ※フィルター交換には、使用期限内の予備フィルターが必要です。

10. 保存、本体稼働テスト

- Q1. 本体及びフィルターの保管場所は、どのようなところが良いですか？
 A1. 40℃以下の室内で湿気がない場所で保管ください。また、冬場の凍結にご注意下さい。
- Q2. 定期稼働テストは、なぜ行うのですか？
 A2. ポンプ等が正常に稼働するかどうかの確認のため、最低1年に1度稼働テストを実施して下さい。実施の際にはダミーフィルターを使用して、水道水(飲料水)を使って通水稼働テストを行って下さい。(フィルター・ROフィルターは、一度使用すると交換が必要となります。)(詳細は取扱説明書をご覧ください。)

11. その他

Q1. 消耗品にはどのようなものがあり、交換頻度はどれくらいですか？

A1. 主要消耗品としては、

(1)プレフィルター

(2)ROフィルター(逆浸透膜)

(3)ポストフィルター

があります。交換頻度については、その使用状況によって異なりますが、一般的には以下ようになります。

1. 浄水の出が悪くなった場合。

2. 浄水が25PPM以上になった場合に交換が必要です。

Q2. フィルター類は、使用しない限り交換しなくても良いですか？

A2. フィルターは、使用しなくても交換が必要です。

プレフィルターとポストフィルターは4年間、ROフィルターは2年間で交換して下さい。

フィルターの交換忘れを防ぐため、フィルター自動補充システム(5年間・10年間パック)もご用意しています。